事務事業調書(	通常評	価事業 事後	:評価)								
事務事業名	人権教	マ育推進事業					始年度  平	成17年度			
担当課	教育委	員会 生涯学	習課		担当者	高	頼亮				
■事業の執行計											
	政策	7策 203 文化薫る心豊かな人材の育成									
総合計画体系	施策										
	基本事	第 01	人権尊重意論	機の啓発							
事業の目的	研修を	通じて人権問	題に対する理解と	:認識を深る	か、市民一人で	トとりがお互い	いに共生できる	5社			
争未の日的	会の実	現を目指す。									
車業の振声	人権意	識の高揚のた	めに啓発を図る。	人権教育	総合推進地域事	事業(文部科学	生省の地域指定	≧)			
事業の概要		・6年度で終了	<b>5</b>								
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年	度	7年度				
事業費の推移	実績/当初予算 実績			実績		当初					
		総事業費	798		64	<b>1</b> 1	I,	50			
■前年度の事業	分析【	評価(Check)									
	指標	±5±	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	7日1	示句例	平位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	研修会参加者数		人	388	338	50	50			
1日1示 リカナ 日本 1日	八木	可修云梦加有数			300	330	30	50			
	評価				成した 〇達						
達成度の			「る「ふれあいじ					セン病」を			
評価と説明	説明		<b>た研修会を開催</b>								
			賢料の配布等によ				図ることがで	きた。			
見直し余地	判定		こ見直し可能 (	)余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	≷地なし	-			
	7 T	Action) ]									
事業の方向性				〇廃止・							
資源方向性	予算	算額 │○拡大	: ○現状 ●縮小		業務量		)現状 ●縮小	`			

事務事業調書(通常評価事業 事後評価)								
事務事業名	地域人	、権啓発活動活	性化事業			事業開	始年度 平	成20年度
担当課	健康福	福祉部 福祉語	Ę.		担当者	菅 菅	俣 宏太	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】						
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	05	市民1人ひと					
	基本事業 01 人権尊重意識の啓発							
事業の目的	人権尊	重思想を浸透	させ、安全安心な	ぽまちづく	りに寄与する。			
事業の概要			を普及させるため	)、人権啓領	発活動を行う。			
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	■度	7:	年度
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績		当初	
		総事業費	743		1	12	86	
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)						
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	<b>打</b> 目1	宗口你	辛匹	実績	実績	計画	計画
指標の推移	活動	実施回数		回	5	4	4	4
	評価	」●達成、	既ね達成した (	○多少は達	成した 〇道	成できず	•	•
達成度の			の大切さ等の情				、人権尊重思	想の向上に貢
評価と説明	説明		<b>いる。人権の花運</b>					
	ДУСУ		協力心と人権を学					
見直し余地	判定		こ見直し可能 (			が必要 ●糸	会地なし	
■将来方向性【	改善(	Action)						
事業の方向性	〇見直	[し継続 ●明	!状どおり継続	〇廃止・	完了			
資源方向性	○児童 C 極祝 ●現状 C おり 極祝   ○廃血・光     業務量   ○拡大 ●現状 ○縮小   業務量   ○拡大 ●現状 ○縮小							

1 100 1 VIVE   1	通常評価		評価)							
事務事業名	さくら市	人権擁護委	養員協議会補助事	業		事業開	始年度 平	<del>z</del> 成17年度		
担当課	健康福祉	部 福祉調	<u> </u>		担当者	t 菅	吴 宏太			
■事業の執行計		(Plan)								
	政策	政策   03   文化薫る心豊かな人材の育成								
総合計画体系	施策	策								
	基本事業	01	人権尊重意識	飯の啓発						
事業の目的	人権に関す 援する。	する相談及	び啓発活動を行っ	ている宇	<b>邹宮人権擁護</b> 委	<b>長員協議会さく</b>	ら部会活動	を支		
事業の概要		権擁護委員	協議会さくら部会	ミに補助金?	を交付し、人材	権擁護活動をす	え 援する。			
■事業実施結果	【実施(D	lo) ]								
	年	度	5年度		6年	度	7年度			
事業費の推移	実績/当	当初予算	実績		実績		当初			
		業費	49		4	9	49			
■前年度の事業	分析【評価	西 (Check)								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	7日1	宗口你	丰四	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動 活動	协回数		回	64	64	65	65		
	評価	●達成、	既ね達成した (	○多少は達	成した 〇達	成できず		•		
達成度の			章は国の責務であ				を実施するこ	ことにより、市		
評価と説明 説明 民一人ひとりの人権尊重意識の向上に貢献している。										
見直し余地	見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
■将来方向性【	改善(Act	ion) ]								
事業の方向性	〇見直し	継続 ●明	見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算額	〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮/	<u> </u> \		

事務事業調書(	- I - F I		(評価)						
事務事業名	男女き	共同参画推進事	務				始年度   平	·成 3年度	
担当課	総合政	女策部 総合政	<b>対策課</b>		担当者	髙	橋 岳陽		
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】							
	政策	03	文化薫る心豊	とかな人材	の育成				
総合計画体系	施策	05	市民1人ひと	市民1人ひとりの人権尊重					
	基本事業 02 男女共同参画社会の推進と多様性の理解								
事業の目的	家庭や	·地域、職場、	学校において、身	∤近なこと≢	から固定的役割	副分担意識をな	ょくす。		
争未の日的	市政	(各種審議会、	委員会)や社会活	動全般にる	おいて、女性の	の参画を増やす	۲.		
車業の揺曲	男女共	同参画推進委	員会(市民)を核	をとした、「	自発的な「男っ	女共同参画」に	対する啓発	活動	
事業の概要			委員会〕。男女共	同参画に	関する市民意詞	敞調査の実施。			
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	- 度	7:	年度	
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実績		当初		
		総事業費	1, 655		4	71	661		
■前年度の事業	分析【	(I評価(Check)							
	指標	指標名称		単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	<b>打</b> 目1	拍棕石柳		実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	深庭で男女の地位が平等となってると思う市民の割合		%	68. 5	66. 6	65	65	
1日1示り71年19	八木			70	00. 0	00. 0	00	00	
	┃   成果	久廷宗議会 禾	員会への女性登用率	%	34. 1	31. 9	30	30	
	******			, •			30	30	
	評価		概ね達成した (			重成できず こうしん			
達成度の			F等についてのア						
評価と説明	説明	月   目標値は過	達成を維持、また	、地方自治	法第202条の3	3に基づく審議	会等の女性均	比率も30%台を	
	キープしており、指標値は達成している。								
見直し余地	判定		こ見直し可能 (	●余地はあ	<u>るがまだ時間</u>	別が必要 ○分	<u>≷地なし</u>		
	71	Action) ]							
事業の方向性	〇見直			<u> 〇廃止・</u>					
資源方向性	予算	算額 【〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	:【○拡大 ●	▶現状 ○縮小	\	

事務事業調書(	通常評価		評価)							
事務事業名	婦人相	婦人相談室運営事業   平成16年度								
担当課	健康福祉部 こども政策課				担当	者 岡	田 裕美子			
■事業の執行計	画【計画	画(Plan)】								
	政策	03	文化薫る心豊	とかな人材	の育成					
総合計画体系	施策	05	市民1人ひと	りの人権尊	重					
	基本事	基本事業 04 配偶者間の人権尊重								
事業の目的	相談者の	の悩みが解消		-						
事業の概要	訪問又的		母子父子自立支援 相談に応じている		相談支援員が	週5日勤務して	おり、電話又	は		
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6:	年度	74	年度		
事業費の推移	実績/当初予算			実績		<b></b>	当初			
	彩	8事業費	5, 945		7,	196	9,	048		
■前年度の事業	分析【訂	平価 (Check)								
	指標		票名称 単位		5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	宗口仰	平位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	相談解決率(終	結件数/相談者数)	%	47	38	50	50		
	評価	2		多少は達		<u> 達成できず</u>				
達成度の			O女性やひとり親							
評価と説明	説明	また、問題	<b>夏解決にあたって</b>	は、関係機	関と連携し、	より良い支援	を心がけるこ	とができた。		
見直し余地	見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
■将来方向性【	改善(A	ction) ]								
事業の方向性	〇見直	し継続 ●明	見状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算	額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	<b>■</b> ■拡大(	)現状 〇縮小	\		

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	評価)					
事務事業名	敬老初	枚老祝い金給付事業   平成17年度   本税   本業開始年度   平成17年度   本税   本税   本税   本税   本税   本税   本税   本						
担当課	健康福	<b>副祉部</b> 高齢調	Ę.		担当者	t 安	達 恭子	
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】				,		
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	05	市民1人ひと					
10	基本事	3業 05	高齢者の人権	<b>華尊重</b>				
事業の目的	長寿者 る。	に祝い金を支	給することにより	リ、長寿を	祝福するととも	に市民の敬え	き意識の高揚を	E図
事業の概要		、満100歳の力	うを対象とし、年	齢に応じた	:敬老祝い金を	給付する。		
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	7年度	
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費 8, 180				9, 0	00	11, 315	
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)	]					
	指標	+6+	西 <i>夕</i>	名称 単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	1日1	宗		実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	支給件数		件	233	258	307	248
評価								
達成度の		長寿を祝礼	Bし祝い金を給付	することに	より、節目の	年を当面の目	標として生き	がいを持ち過
評価と説明	説明	目 ごすことだ	ができるため、事	業の成果は	たでている。			
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし	
■将来方向性【	改善(	Action)						
事業の方向性		1し継続 ●明	状どおり継続	〇廃止・	完了			
資源方向性			: 〇現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	`

			€評価)						
事務事業名	成年後	6見制度利用(6	2進事業			事業開	始年度	令和 4年度	
担当課	健康福	a祉部 高齢認	₹		担当者	安	達 恭子		
■事業の執行計	■事業の執行計画【計画(Plan)】								
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系									
		本事業 05 高齢者の人権尊重							
+ 414 0 T 44	成年後見制度の利用促進を図るため、制度の周知や相談を行う中核機関を設置するととも								
事業の目的			てを支援し、その						
			る広報、普及活動						
事業の概要			利用に繋がるよう		~JXN 20 S.C.	, 0,1 C 101/m C	1000000	, = 1,	
■事業実施結果			11/11/2 56/2	71- 7 W 0					
		年度	5年度		6年	 F度		7年度	
事業費の推移	実紀	績/当初予算	実績		実績		当初		
ナル臭い正り		総事業費	144	163			930		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)							
	指標				5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	指	標名称	単位	実績	実績	計画	計画	
16 17 - 17 76									
指標の推移		相談件数		件	10	22	22	22	
	成果								
	評価	<b>」</b> ●達成、	概ね達成した (	○多少は達	成した 〇道	を 成できず	,	'	
達成度の			実施したことによ				別の案件に	ついては相談会	
評価と説明	説印		ていただくことに					2 2 10 11 11 12 12	
11 lm C 100.51	пло-л	, [ ]		0. 7. 1171	>,(.,, 0 = =		Ü		
見直し余地	知定	〇数年内	に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇金	き地なし.		
		Action)	<u> </u>	,,,		22 01			
事業の万同性	〇見直	すし継続 ●班	見状どおり継続	〇廃止・	完了				